

平成 25 年度 郷土づくりシンポジウム

「集中豪雨による浸水被害・土砂災害から身を守る」

主 催 : 一般社団法人 鳥取県測量設計業協会
後 援 : 国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所
鳥 取 県

2011年9月3日に発生した台風12号は、紀伊半島に時間雨量130mmを超える記録的な豪雨を降らせ、多くの河川の氾濫、土砂災害が発生し、これにより多くの人命が失われ、道路・河川・電気・通信などのインフラが寸断されました。

当協会は、今年6月に被災地である和歌山を訪れ、災害後の復旧への取り組みを視察しました。

近年、山陰地方においても、集中豪雨による河川の氾濫、浸水被害及び土砂災害が多発しています。この視察を踏まえ、災害からわが郷土、わが身をいかに守るかについて考えるため、このシンポジウムを開催しました。

当日は、国、県、市町村を始め、140名余りの多くの方に参加していただき、盛会裡に終了しました。

この会の開催に当たり、講師・パネラーの方々、協会会員会社の方々にはお忙しい中、有難うございました。

日 時 2013年10月29日(火)
13:00~17:00

場 所 倉吉交流プラザ
視聴覚ホール

シンポジウムの様子



【 開会挨拶 会長 大野木 昭夫 】



【 来賓挨拶 国土交通省中国地方整備局
倉吉河川国道事務所長 角田 文敏 氏 】



【 来賓挨拶 鳥取県県土整備部次長 山口 真司 氏 】

【第1部】



「紀伊半島の災害から得たもの」
副会長 桜井 博幸



「集中豪雨を考える」
鳥取大学名誉教授 藤村 尚氏

【第2部】

パネルディスカッション

「集中豪雨による浸水被害・土砂災害から身を守る」



- 司 会 鳥取大学名誉教授 藤村 尚氏
- パネラー 国土交通省中国地方整備局 横林 直樹氏
- 倉吉河川国道事務所副所長 山口 真司氏
- 鳥取県県土整備部次長 大野木 昭夫
- 鳥取県測量設計業協会会長



【パネラー 倉吉河川国道事務所副所長 横林 直樹氏】



【閉会挨拶 副会長 石田 克志】



【司会 総務委員長 大西 幸人】